

広報 あいづ ばんげ

11

No.675
2020

目次 -CONTENTS-

会津磐梯山の山頂で「会津磐梯山」を奉ぐ	2
町職員の給与と職員数の状況をお知らせします	4
第32回 市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会	6
住宅にお困りの方を対象に、町営住宅の入居者を募集します	8
道路管理へのご協力をお願いします	9
農地パトロールを実施しました～農業委員会～	10
令和元年度 会津坂下町のごみ排出実績	11
令和3年度 坂下南・坂下東幼稚園新入園児募集!	12
児童・高齢者・障がい者虐待は私たちの身近で起こりうる問題です	13
大切な命を守るために	14
まちの話題	15
図書室だより・町史編さん調査余話(37)	17
お知らせインフォメーション	18
こどもと健康の広場	22
10月1日より鶴沼球場はBMI鶴沼球場へ!!	
・第14回市町村対抗福島県軟式野球大会結果	24

表紙:山頂に響く「会津磐梯山」
(台ノ宮かんしょ連)

台ノ宮かんしょ連

会津磐梯山の山頂で「会津磐梯山」を奉ぐ



台ノ宮かんしょ連は、笛太鼓・かんしょ踊りの継承を目的に、町民の有志により結成された団体です。毎年台ノ宮盆踊りを主催するほか、ばんげ夏祭りでのお囃子でもお馴染みで、会津坂下町のお祭りシーンに欠かせない存在となっています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年の盆踊り中止を余儀なくされた台ノ宮かんしょ連。コロナ禍の終息を願い、彼らが挑戦したプロジェクトや、団体の今をお伝えします。

コロナ禍中に元気を届けたい

「会津磐梯山の山頂で民謡『会津磐梯山』を唄うというのは私の長年の夢だったんです。こう語ったのはかんしょ連で唄い手を務める黒澤のみさん。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために台ノ宮盆踊り中止の話し合いの場で思いを語りました。

こういった時期だからこそ、自分たちの活動でみんなと元気になることができないかというメンバーたちの考えと、民謡「会津磐梯山」の奉納が上手く合致し、すぐに「会津磐梯山で『会津磐梯山』プロジェクト」が始動しました。



▲毎年多くの人で賑わっている台ノ宮盆踊り

地域の実現可能に

山には篠笛・鐘・太鼓を持っていくことになりました。問題は、20数キロの太鼓をどのように運ぶかでした。実際に担いでみると、空洞の太鼓は重心を取るのが想像以上に困難でかんしょ連を悩ませました。し

かし、メンバーたちは「お囃子に欠かせない太鼓は外せない。」と持参を諦めることができず。そこで古坂下若手会にも太鼓の運搬の依頼をしたところ、二つ返事で協力してくれました。「不可能だと思われたことが若手会の協力もあり実現できました。こうして地域の協力があって様々な行事が成功していることを実感しています。」(台ノ宮かんしょ連代表 廣田昌二郎さん)

こうして、プロジェクトメンバーは見事に山頂へ登頂しました。

宝の山からコロナの終息を願う

9月22日秋晴れの空の下、太鼓を背負子に乗せ、19名で頂上を目指しました。約3時間かけて登頂し、山頂で会津磐梯山の「正調」「かんしょ」を奉納しました。会津磐梯山には、新型コロナウイルスの終息を願う、かんしょ連の笛太鼓と唄が響き渡りました。

今回のかんしょ連の取り組みは新聞でも大きく報道され、町民のみならず、福島県内の人々の心を明るく照らしてくれました。閉塞感を感じる今日この頃、台ノ宮かんしょ連と彼らを支える地域の人々は、いつもとは一味違うやり方で私たちを元気にしてくれました。



▲太鼓を担いで磐梯登山
10分交代で担ぎ手を代えながら進みます。空洞の太鼓は重心が取りにくいので、ひっくり返らないように支えながら登りました。



▲山頂での奉納の様子はこちらからご覧ください。
「YOUTUBE 台ノ宮かんしょ連チャンネル」より



一大プロジェクトを成功させたかんしょ連の皆さん。これまでの取り組みから何を感じてきたのか、また、これから目指すものについても伺いました。



台ノ宮かんしょ連
代表 廣田昌二郎さん
(古坂下)

「自分たちがまず楽しむ」をモットーに、台ノ宮かんしょ連を23年も続けてくることができました。地域の中で人のつながりが希薄化しているといわれていますが、私たちは地域の皆さんと互いに協力しあって「台ノ宮盆踊り」などを毎年開催しています。今回のプロジェクトも、そうした方々の協力があったからこそ成功です。団体としては、今まさに理想の形が築けていると感じます。

今後は子どもたちへの笛太鼓の継承にさらに力を入れ、まずは来年の盆踊りの開催を目指します。そしていつかは、盆踊りをメインとした、幅広い世代が楽しめるような新しいお祭りが実現できたらと構想しています。

もちろん、我々だけでなく「オール坂下」の皆さんと力をあわせて…。



台ノ宮かんしょ連
唄い手 黒澤このみさん(上町)
民謡会津磐梯山全国チャンピオン

今回は私の一言から大きなプロジェクトとなり、夢をかなえてくれたメンバーに本当に感謝しています。

名峰会津磐梯山の頂上に立ち、日本三大民謡の「会津磐梯山」を唄いながら、歌詞を景色で実感する貴重な体験は私にとって大きな宝となりました。

私は小学5年生にかんしょ連と共演し、20歳から参加して伝統あるかんしょを継承してきました。伝統を守る者としては、台ノ宮盆踊りを再開するのが一番の目標です。そこで精一杯唄い、多くの人にかんしょ唄いを楽しんでもらいたいです。

そしてこれからも町内のお祭りを盛り上げていきたいですね。

台ノ宮かんしょ連

「途絶えていた台ノ宮盆踊りを復活させ、子ども達に見せたい」と平成9年に古坂下若手会を中心に結成しました。現在では他地区のメンバーや学生を含む25名で活動。町の祭りへの出演のほか、地域の子も達や幼稚園児に笛太鼓を指導するなど、継承者のすそ野を広げる活動に力を入れています。



笛太鼓を演奏したい方、ぜひ一緒に活動しましょう！（お住まいの地区は問いません）
台ノ宮かんしょ連事務局連絡先 090-1378-6664(代表 廣田)